EE Times Japan 殿

新連載、その他についてのご提案とご相談

2016年1月30日 江端智一

はじめに

2012年4月より現在に至るまで、様々な連載の機会を頂けましたこと、心から感謝申し上げます。

きた、この度、新連載、その他についてのご提案 とご相談の機会を頂けましたこと、重ねて御礼 申し上げます。

> 2016年1月30日 江端智一

目次

- (1) 現行の連載の当面の見積
 - (A)「数字で世界を回してみよう(以下、[数字]という) の「ダイエット編」について
 - (B)「EtherCATで、ホームセキュリティシステムを作る (以下[EC]という)について
- (2) [数字]の今後の連載案について
 - (A)ご提案頂いている案(インターネットの歴史)について
 - (B) 当方(江端)よいご提案する案について
- (3) [EC]終了後の新連載について
 - (A)新連載の案について

(1) 現行の連載の当面の見積

(A)[数字]について

2月:「バーチャル江端」によるダイエットシミュレーション

3月:(最終回)江端式ダイエット法、総括

(B)[EC]について

2月:江端家ホームセキュリティシステム実装

3月: 商用マスタTwinCATの紹介と使い方

4月:(最終回)ECの歴史と、ECよるIoTの将来

(ベッコフ社殿インタビュー)

[数字]は、4月より新テーマを開始→テーマ未定 [EC]は、連載終了→その後については未定

(2) [数字]の今後の連載案について(1)

(A)ご提案「インターネットの歴史」について

- (i)ご提案の動機:若い世代へ「全体像」を示したい
- (ii)検討結果:手垢のついたネタ。際立った切り口が必要

[案1]インターネット技術が登場したことで、失われたものを一つ一つ、 丁寧に拾って(検証して)行く

インターネットで被害を受けた会社(NTT, 日立)や人々(小売業)、 壊滅させられた日本のPC市場(NEC,東芝)、 勝者なきネットの世界、 未だにテレビほどには影響のないネットメディア、 出現しなかったユートピア(世界を一つにするどころか、 偏見と憎悪と殺戮を加速)、 インターネットがなければ発生しなかった犯罪、 廃棄させられた大量のパソコン、 確立しないネットリテラシー、 等

[案2]インターネットの創成のメンバの一人(例:江端)でありながら、 インターネットに不幸にされていく日々を語る

無責任な発言を容認し創作者の心を破壊するSNS、いたずらに若者の時間を消費 しつづけるスマホ、交友関係の断絶から殺人事件にまで発展する電子メール、会話 や笑い声がなくなったオフィス、管理部門の無能化、ワード/エクセルが使えないだ けで再就職ができない世代、等

(2) [数字]の今後の連載案について(2)

(B) 当方(江端)より提案する案について

[案1]「自殺(or 人身事故)」を数字で回してみよう

動機:度重なる「人身事故」でウンザリ。東京圏のみ突出?

目的:「自殺」の定量化 → 件数、経済損失、鉄道会社の対応コスト等 組織、身内へのインパクト

「人身事故」動機の定量化 → なぜ「人身事故」の方法を選ぶ? (統計的、科学的分析)

統計的「自殺」の効果的な防止方法、「自殺」シミュレーション等ポイント:「自殺」をタスー視せず、冷徹に数字としてのみ把握する

[案2]「老後を迎撃する」を数字で回してみよう

動機:退職まで残り「1桁年」に突入、老後の不安が具体化

目的:まず「私の老後はどうなる」を冷静にシミュレーションし、

どういう風に「老後を迎え撃つべきか」を、蓄財の観点から把握

ポイント:「ボンヤリとした不安」を「目に見える不安」にして高齢を闘う

(3) [EC]終了後の新連載について(1)

恒例の「江端の引き出し」

| フィールド | 内容 | 考察 |
|---------|---|------------------------|
| (A)英語 | (1)英語に愛されなくても闘う人達 (2)読者と見付けるTOEICの裏技 | ○現実的に有用 ×二番煎じの感あり |
| (B)技術 | (1)人工知能、(2)GPS、ビックテータ、 電磁気基礎理論 | ○ネタはある ×他著作との差別化 |
| (C)法律 | 特許・著作権法、ライセンス、各種判 例解説 | ○ネタは十分にある ×読者数が少ない? |
| (d)数字 | 仕事、日常生活で、活用可能な数学 の使い方 | ×すでに実施中 |
| (e)時事問題 | 結婚、出産、原発、その他 | ×他メディア(休止中)とバッ ティング |

(3) [EC]終了後の新連載について(2)

(A)英語に関する

[案1]「国内で」英語に愛されなくても闘う人々

動機:これまでは「海外で闘う人(エンジニア)」だったが、今や、英語 のバトルフィールドは「日本国内」なのではないか?

目的:国内で、英語(や外国語)で苦労している人から、そのノウハウを

頂く

観点:年間2千万人に達しようという海外観光客「接客業」への

インタビューを主体におく

ポイント: 間接的に「TOEIC無用論(TOEIC死ねばいいのに)」を強化

[案2]英語の勉強以外の手段で、TOEICに勝つ

動機:英語は苦手だがTOEICから逃げられない

目的:勉強以外の手段(統計解析、頻度分析、データ分析、テキスト

解析)で、TOEICを攻略する(TOEICを嗤う)

ポイント: (同じく)「TOEIC死ねばいいのに」を強化

(3) [EC]終了後の新連載について(3)

(B)技術に関する

[案1] 人工知能

動機:江端は、第2世代の人工知能で痛い目に当ってきた一人。

今の「人工知能」も疑ってかかっている

目的:江端が、「今回は行ける!」と判断できるかどうかに注力

観点:第1、第2世代との比較(ニューロとデープラーニングの違い)

将棋、囲碁などの現状等

ポイント:「(江端も)分からない→だから一緒に勉強する」のスタンス

[案2]GPS

動機:江端は、GPSの仕組みをほぼ完璧に理解している一人。

多くの人が、この仕組みを理解していない(誤解している)

目的:分かりやすいGPSの読本

ポイント: [EC]と同じく「メイド」などを使ったコンセストモデルで

GPSの仕組みを説明する。

その他(雑感)

- (1)最近、ランクインが少ないように思う
 - → ご期待の成果が十分に出ていないように思う
- (2)新連載については、「見送り」もありかと
 - → 一方的な提案になっていたら却下頂きたく
- (3)(当然ですが)ご依頼頂いたネタで、書かせて頂きますので、御遠慮なくご注文下さい

ご検討頂けますよう、よろしくお願い致します。